



2024年12月期 第3四半期

補足資料

2024年11月14日（木）

株式会社ビーグリー（Beagle Inc.）

東証スタンダード：3981

売上高

14,256 百万円

(前期比 1.4% 減)

営業利益

1,411 百万円

(前期比 11.0% 増)

当期純利益

724 百万円

(前期比 17.6% 増)

- 売上高はPセグが減収となったことで、**前期比1.4%の減収**となった。
- 営業利益はデジタル収益の牽引により、Cセグが増益となったことで、**前期比11.0%の増益**となった。
- 営業利益及び当期純利益は**3Q累計期間における過去最高益**となった。

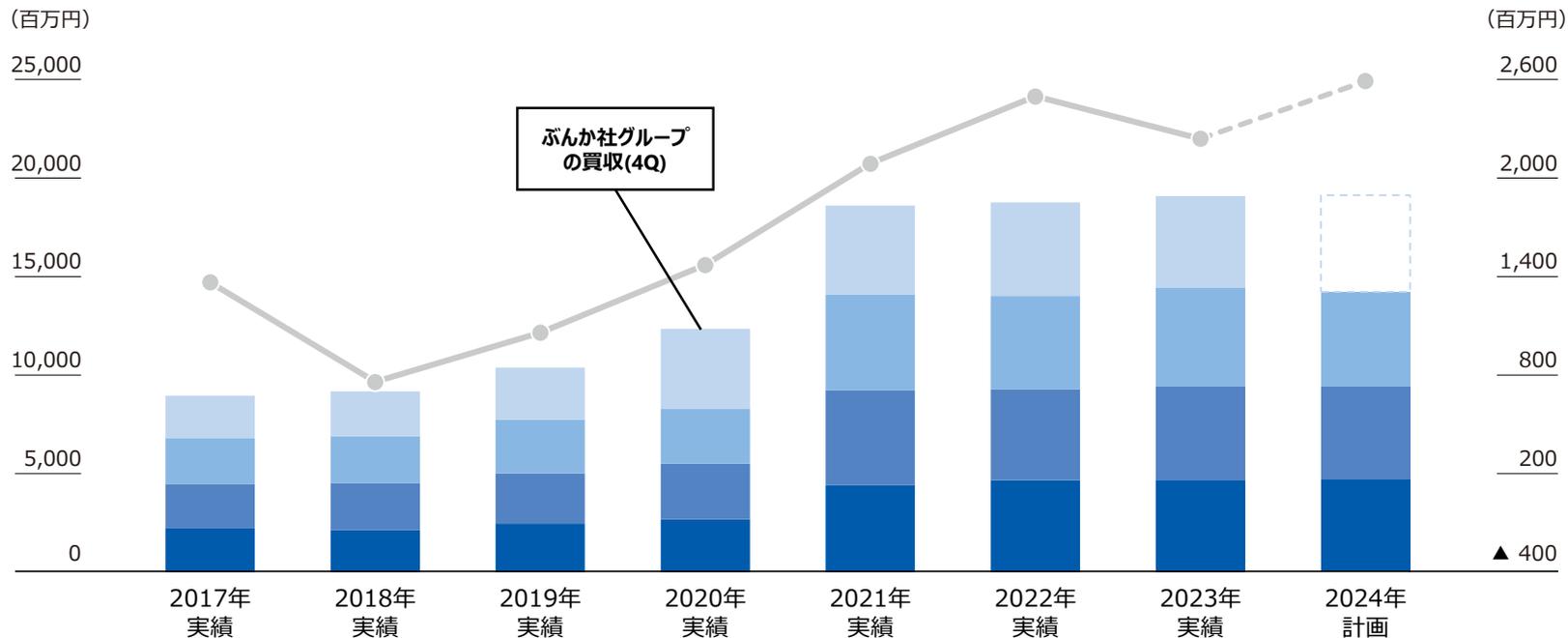
(単位：百万円)

P / L	2023年12月期	2024年12月期	前期比	
	3Q 累計	3Q 累計	増減額	増減率
売上高	14,452	14,256	▲196	▲1.4%
営業利益	1,271	1,411	+139	+11.0%
のれん等償却前営業利益	1,832	1,972	+139	+7.6%
経常利益	1,231	1,370	+138	+11.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	615	724	+108	+17.6%
1株当たり当期純利益 (円)	102.56	120.57	+18.00	—

注：のれん等償却前営業利益は、のれん及び著作権償却前の営業利益

注：端数処理の都合、合計値は不一致

売上高・のれん等償却前営業利益



売上高 (■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q) ● のれん等償却前営業利益
 注: 「2024年計画」の売上高は3Qまで実績値、のれん等償却前営業利益は計画値

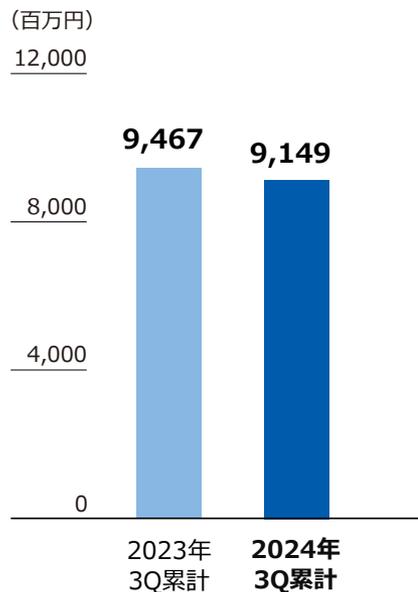
(単位：百万円)

B/S	2023年12月期末		2024年12月期 第3四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	補足
流動資産	9,009	49.0%	8,447	49.1%	▲561	
固定資産	9,375	51.0%	8,774	50.9%	▲600	のれん 78.8億円 出版権 3.1億円
資産合計	18,384	100.0%	17,222	100.0%	▲1,162	
負債合計	11,431	62.2%	9,990	58.0%	▲1,140	D/E レシオ 0.70
純資産合計	6,953	37.8%	7,231	42.0%	+278	自己株式の取得等
負債・純資産合計	18,384	100.0%	17,222	100.0%	▲1,162	
自己資本比率	37.8%		42.0%			

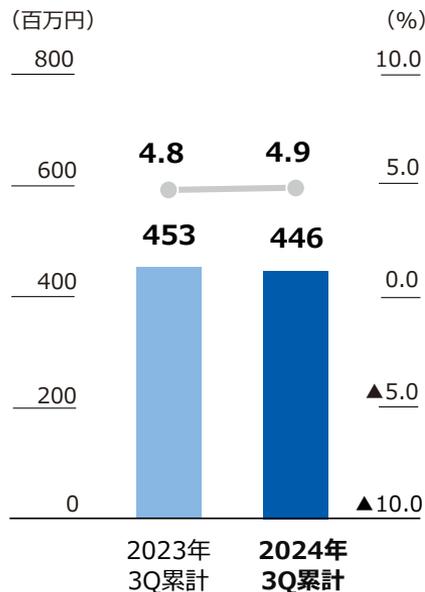
注：端数処理の都合、合計値は不一致

プラットフォームセグメント…コミック配信サービス「まんが王国」の運営、まんが王国オリジナル作品のデジタル出版、その他周辺ビジネス

売上高



営業利益・営業利益率



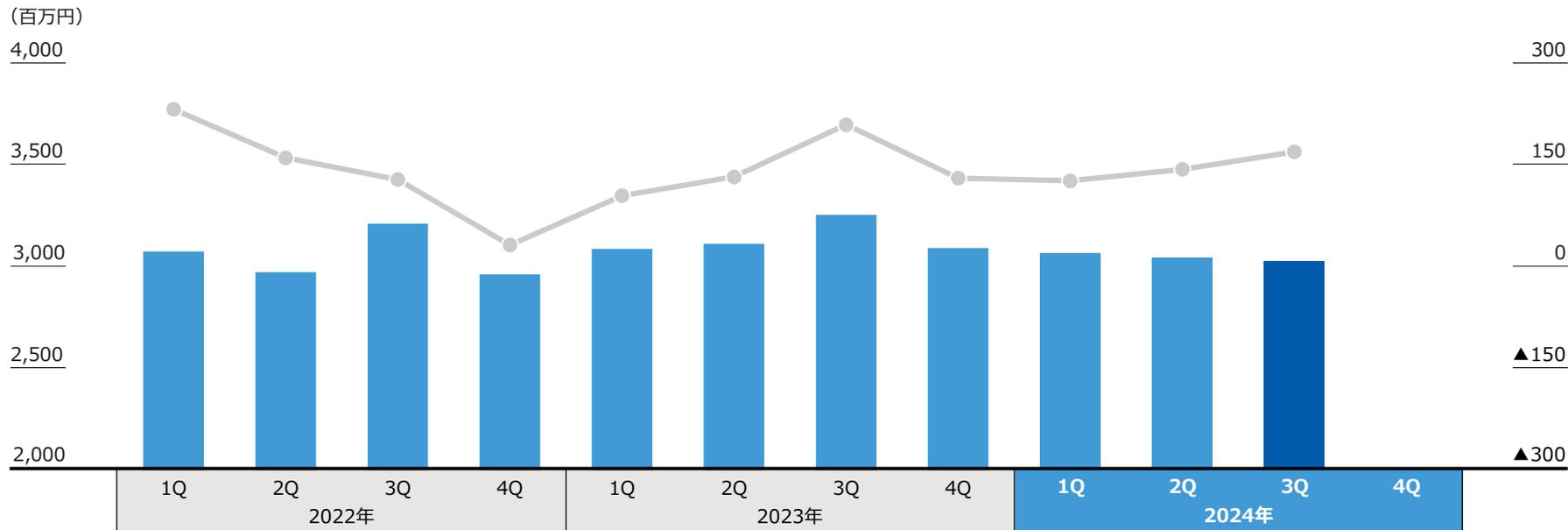
売上高

- 売上高は、『まんが王国』の売上高が前期を下回ったことで、QonQ100%、YonY97%となった。
- 『まんが王国』におけるARPPUは課金・消費ともに増加したものの、MAUは減少が続き、YonY85%となった。

営業利益

- 営業利益は、売上総利益が減少し、広告宣伝費をはじめとした販売管理費についても減少したことでYonY▲6百万円となった。
- 広告宣伝費は、非効率な広告宣伝を削減し、より効率的な広告出稿を実行した結果、YonY▲234百万円となった。

Pセグ 売上高・営業利益

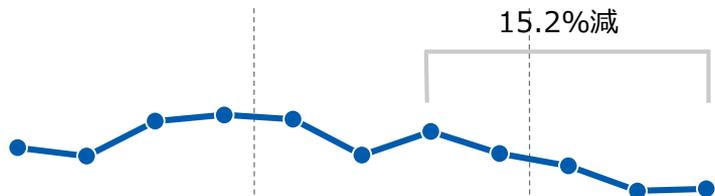


■ 売上高 ● 営業利益

注：売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

MAU

YonY
15.2%減



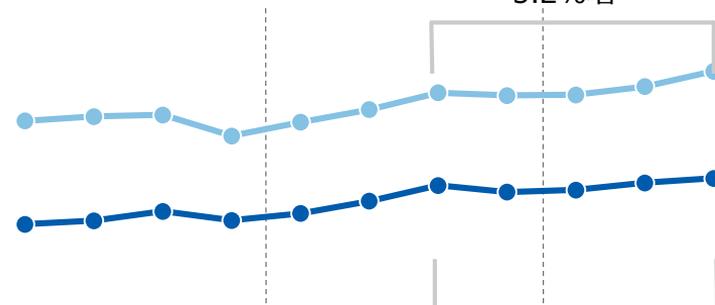
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
2022年				2023年				2024年			

● MAU

『まんが王国』を訪れた会員数の推移

ARPPU (課金・消費)

YonY
5.2%増



YonY
2.2%増

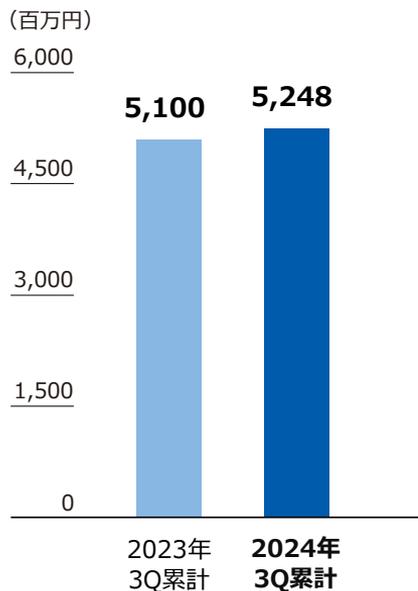
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
2022年				2023年				2024年			

● 課金ARPPU ● 消費ARPPU

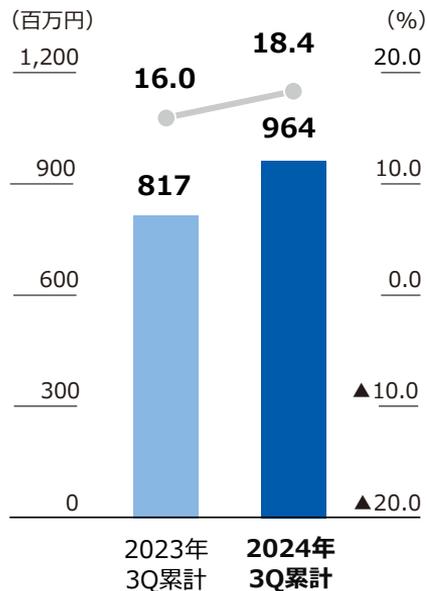
課金額・消費額を有料会員数で割った金額の推移

コンテンツセグメント…ぶんか社を中心とする書籍・雑誌の出版、およびそれらのデジタル出版

売上高



営業利益・営業利益率



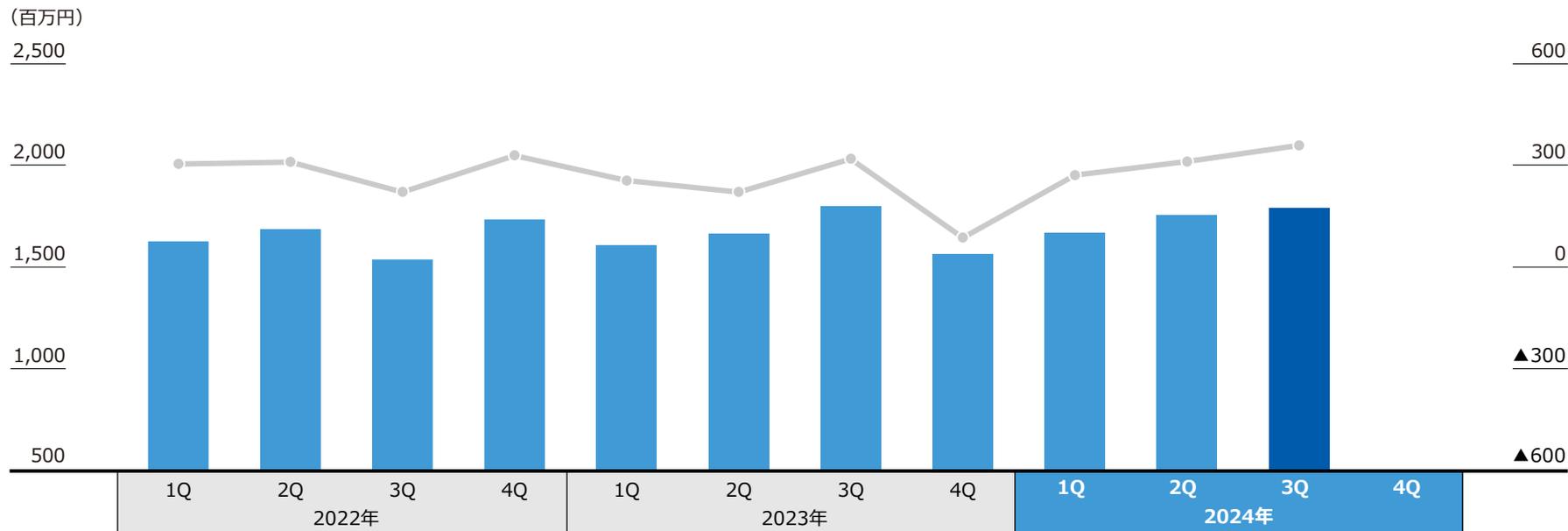
売上高

- デジタル売上高はQonQ109%、YonY111%の3,801百万円となった。
- 紙出版売上高は配本部数のコントロールを実施した結果、YonY86%の1,447百万円となった。
- 紙出版売上高が前期比で減少したものの、デジタル売上高が伸長したことで、セグメント売上高はYonY103%となった。

営業利益

- デジタル売上高の伸長により、デジタル収益はYonYで増加した。
- 配本の減少に伴い、製造原価も減少したことに加え、海外向け許諾が堅調に推移したことで、紙出版収益は前期並みとなった。
- デジタル出版の牽引により、売上総利益が増加したことで、営業利益はYonY+146百万円となった。

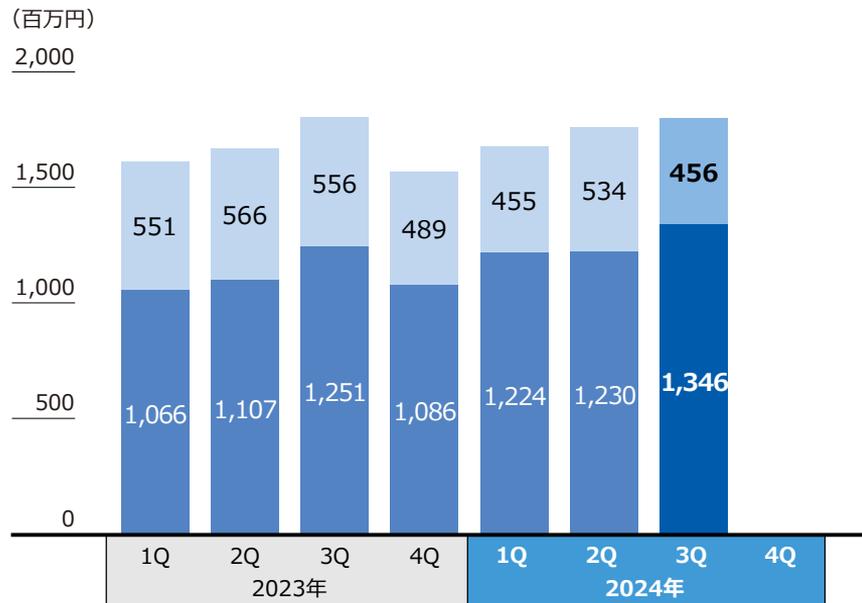
Cセグ 売上高・営業利益



■ 売上高 ● 営業利益

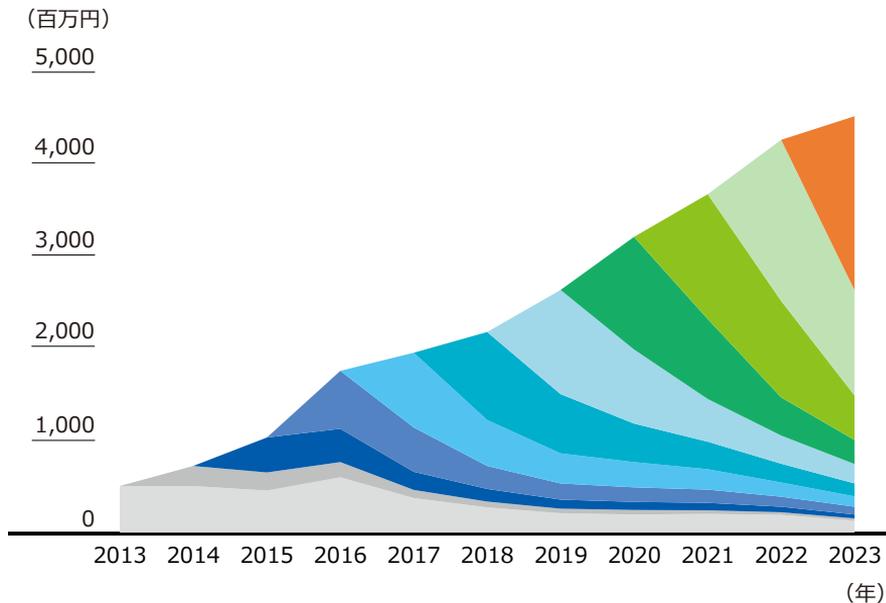
注：売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

Cセグ 売上高



注：端数処理の都合、合計値は不一致

デジタル売上高と配信開始時期



■ 2013年 ■ 2014年 ■ 2015年 ■ 2016年 ■ 2017年 ■ 2018年
■ 2019年 ■ 2020年 ■ 2021年 ■ 2022年 ■ 2023年

注：管理会計数値のため、財務会計数値と不一致

2024年2月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

（単位：百万円）

P / L	前期実績	2024年12月期 予想		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	19,080	20,118	+1,038	+5.4%
営業利益	1,496	1,846	+349	+23.4%
のれん等償却前営業利益	2,244	2,594	+349	+15.6%
経常利益	1,440	1,804	+363	+25.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	689	925	+236	+34.3%
1株当たり当期純利益（円）	114.74	153.52	+38.78	-

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。
- これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料内には、事業環境の説明を行う上で参考になると考える情報を掲載しておりますが、会計監査人の監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性を完全に保証するものではありません。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標又は登録商標です。

クリエイターとファンを繋ぎ、新たな価値を創造する



株式会社ビーグリー (Beagle Inc.) 証券コード : 3981

Email : ir@beagle.com